

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2016-09-01

No. 79



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。
コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 妨害から医用電気機器を保護: IEC TC 77、IEC TC 62、IEC TC 29 による規格作成	3
IEC: 新規格リスト	4
ISO: 新規格リスト	7
国際テーマ: UNECE: 新規のタイヤ圧監視システム (TPMS)、ESC、及び BAS 規制の提案	8
国際テーマ: 米国とカナダに関する Nemko の認定範囲の拡大	10
国際テーマ: 欧州 RoHS 指令の新しい除外に関する勧告	10
国際テーマ: 発展中のアジア市場におけるワイヤレステクノロジー製品の認証	11
国際テーマ: インド規格局が申請状況の照会に関する通達を発行	11
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	12
USA: FCC: KDB: Part 95: メディカル・ボディアリアネットワーク (MBAN) 測定手順	13
USA: FCC: Part 11: 緊急警報システム (EAS) の修正	14
USA: CPSC: 子供向け製品第三者試験: 子供向け製品証明書 (4/5)	14
USA: FDA: 医療用 X 線撮影機器の IEC 規格への適合: ドラフトガイダンス	15
USA: FDA: 1997 年現代化法: 公認規格リストの修正、公認リスト番号: 044 発行	16
USA: DOE: 省エネプログラム: 汎用ランプの特定カテゴリーに関する試験手順	16
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	17
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	17
USA: IEEE: 新規格リスト	20
EU: EU 製品規則の実施に関する “ブルーガイド” 2016 年版 発行	22
EU: 整合規格発行: 無線機器指令、新 EMC 指令、適合性評価及び MS 規制、等	22
EU: 解説: 新 EMC 指令 2014/30/EU 整合規格リスト発行 (2016/8/12)	23
EU: 解説: 無線機器指令 RED 整合規格リスト発行 (2016/8/12)	25
EU: 玩具指令関連: 子供向けリモコン飛行玩具に使用されるローターブレード	25
EU: 規格解説: ETSI EG 203 367 マルチ無線機器、コンバイン機器への無線機器指令適用ガイド	27
EU: ETSI: 新無線機指令 RED '2014/53/EU' 関連審議中規格一覧	32
EU: CENELEC: 新規格リスト	34
EU: ETSI: 新規格リスト	36
中国: CNCA: 新版規格に基づき国家情報セキュリティ製品の認証を実施	38
中国: CQC: 情報処理機器、AV 機器、通信端末機器強制性認証実施細則	38
中国: CQC: 太陽光発電システム用ケーブル製品の任意安全認証: 新版規格の実施	39
中国: CQC: 非金属基体赤外線ヒーターの安全および性能認証業務開始に関する通知	39
中国: CQC: 風力タービンシリーズの部品製品認証規則の改訂に関する通知	40
中国: 新規格リスト	40
台湾: 新規格リスト	40
韓国: 電磁両立性の基準の一部改正令行政予告文	41
韓国: 電気用品安全管理運用要領の改正告示: 電子ラベリング等	41
総務省: 平成 28 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (8 月期)	42
総務省: 「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に関する技術的条件」の検討開始	42
総務省: 情報通信審議会 衛星通信システム委員会 (第 28 回) 配付資料	42
総務省: 平成 28 年「情報通信に関する現状報告」(平成 28 年版情報通信白書)の公表	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について: 整合規格関連	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について: 電気フライヤー	44
経済産業省: 電気用品安全法 3 条の届出事項について (お詫びと周知)	44
ちょっといっぱく~小クイズコーナー 米国 NRTL について	12
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	21
社長の独り言	45



IEC: 妨害から医用電気機器を保護: IEC TC 77、IEC TC 62、IEC TC 29 による規格作成

- すべての医用電気機器 (MEE) と医用電気システム (MES) は、IEC TC 77 により作成された一般 EMC 規格を満たさなければならない。
- しかし、その他にも、医療実務での電気機器に関する特定国際規格が必要とされている。これらの規格は、主に IEC TC 62 の SC によって作成されている。IEC TC 62 またはその SC 以外に、補聴器に関連する国際規格は、IEC TC 29: 電気音響学によって作成されている

国際テーマ: UNECE: 新規のタイヤ圧監視システム (TPMS)、ESC、及び BAS 規制の提案

国連欧州経済委員会 UNECE での規制 Regulation 作成作業

- 1958 年協定の傘下で 下記のように三種システムに関し新規規制の提案が行われている。新規規制完成の時点では車両認証用規制の世界共通化が一層進むと期待される:
 - 新規のタイヤ圧監視システム (TPMS) 規制の提案、新規の電子スタビリティコントロール (ESC) 規制の提案、新規のブレーキアシストシステム (BAS) 規制の提案

USA:FCC: KDB: Part 95: メディカルボディアエリアネットワーク (MBAN) 測定手順

- メディカル・ボディアエリアネットワーク (MBAN) のパート 95 への適合性評価のためにはどのような手順を使用すべきか >>> ここに与えられたガイダンス文書の測定手順を使用する。

EU: 解説: 新 EMC 指令 2014/30/EU 整合規格リスト発行 (2016/8/12)

- 2016/8/12 付け欧州官報にて新 EMC 指令 2014/30/EU の 整合規格リスト 2 回目が公示された。前回分(初回分)は 2016/5/13 付けだった。追加された規格は 16 件、削除された規格は 7 件、修正された規格は 1 件であった (複数の Amd のある規格は 1 つの規格としてカウント)。

EU: 解説: 無線機器指令 RED 整合規格リスト発行(2016/8/12 付)

- 無線機器指令 RED 2014/53/EU に関する整合規格リストが 2016/8/12 日付で発行された。前回、2016/07/08 付けに引き続き、今回は 2 回目の整合規格リストである。規格 2 件が追加掲載。

EU: 規格解説: ETSI EG 203 367 マルチ無線機器、コンバイン機器への無線機器指令適用ガイド

- 本文書は、無線機器指令 (RED) の条項 3.1b (EMC)、及び条項 3.2 (無線スペクトラムの有効で効率的な使用) との適合を実証するため、マルチ無線 multi-radio (複数の無線を搭載した) 機器、及び無線と非無線の コンバイン機器 (無線と非無線が組み合わされた機器) への整合規格の適用に関するガイダンスを提供する。
- 本ガイドは特に以下を行う:
 - この種形式の機器(マルチ無線機器、及び、無線と非無線のコンバインされた機器)の適合性評価のためのガイダンスを提供する;
 - マルチ無線機器又はコンバイン機器のそれぞれの構成要素である製品 constituent product にすでに実施された評価をどのように活用するか、及び、可能である場合、この種形式の機器の適合性評価(CAP)を完遂するため追加的に必要な評価(Δ)をどのように特定するかに関するガイダンスを提供する;
 - 可能である場合、試験の重複を避け効率的試験完遂を支援する。

社長の独り言

平成 28 年 8 月 22 日

濱口 慶一

今朝原稿を書きながら、国内線で携帯用の充電バッテリー充電器が発熱と発煙で出発空港に引き返す事故が生じたというニュースを見ました。製品安全評価に携わっている以上、私たちは様々な事故の原因を考えることが習慣となっています。最近リチウム電池を使用した様々な種類の充電器が販売されていますが、中にはリチウム電池本来の危険性を考慮した設計がなされているかどうか不安に思う製品があります。リチウム電池は、過去の事故例にもあるように安全性を確保するには絶縁層の設計とリチウム材を絶対に空気にさらさない（水分を与えない）ことが重要なポイントになると言われています。そのために絶縁層の厚さをできるだけ薄くしてリチウム電池の性能を上げたい要望と、できる限り安全に機能させる面との格闘があるように思うのです。外観が非常に薄型であるということはリチウム電池の本体も薄くなり、絶対に空気に触れさせない（空気中の水分と接触しない）ようにしなければならないのに、曲げのストレスに弱くなって壊れやすくなる傾向にあるように思うのです。旅行かばんを機内に持ち込んだり、手荷物として預ける際に充電器を入れてギュッと押し込むと、平たく薄いリチウム電池を使用した充電器だとリチウム電池本体に大きな曲げのストレスが加わると考えるべきだと思います。

製品安全においては、いろいろな機器に対していろいろな規格や基準が存在し、基本的にはそれに適合させる必要があります。低電圧で稼働するので感電の危険性がないとして安全とすることは、非常に危険であります。大電流での発熱や、それにより発火が生じる危険性も考慮するべきだと思います。TV や新聞の報道だけで今回の事故例を判断することは到底できませんが、経済産業省のホームページでも記載しているように、規格や基準に適合していても最後はもう一度製品のリスク分析をして設計開発していただき、市場に出ようとする製品を評価して、使用者の生命と財産に支障を与える可能性があれば設計改良をするべきだと思います。

規格や基準に明記されていないから良いとか、他社競合も同じような考えで製品を販売しているから良いという考えがあるとすれば危険に感じます。一度事故が生じると、製品の回収や被害に対する補償対応など、とんでもない損失があります。ぜひ、設計開発の初期段階で弊社の技術相談業務をご検討下さい。たくさんの製品の開発製造に関係してきた経験をご利用していただければと思います。

NHK の朝ドラで「とと姉ちゃん」が放送されています。BS であれば出勤前の時間に見ることができるので、遅刻することなく楽しんでいます。最近では企業の創業者の方、または近い人のお話が続いていますが、小さくても企業の経営に責任を持つ者として非常に心打たれる時があります。この人もこんなに困難な時があったのか？そして何よりそれを乗り越えて行く姿勢に経営のヒントと感動を覚えます。

特に今回の「とと姉ちゃん」での戦後の社会で近代化が進む生活必需品の評価試験を思いつかれ、この企業からもサンプルなどの提供を受けないで実施していく企業方針に大きな勇気を頂きました。

現在の日本社会には、間違った判断で規格、基準に本来適合しない製品が販売され、また後発の企業もそれが市場で売れているからと、よく似た製品を販売している場合があります。今後コスモスは、そのようなお客様に非公開で問題点を明示してご判断を仰ぎたいと思います。コスモスは判定が厳しいとか、いろいろうるさいとお客様から疎まれることがあっても、私は規格、基準への不適合や、リスクが存在すると判断した場合には、お客様に明確に伝えなさいという指示を出したいと思います。もし製品評価において弊社スタッフからそのような指摘を受けることがありましたら、ご検討の上、企業として再度リスク分析をしていただいて対策をお願いします。

お客様の製品を使用する人の生命と財産を守るために、少しでも力になれば幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2016-09-01 (No. 79)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2016 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。